

「問題」「解答・解答例等」「出題の意図」

選抜区分	2026年度（選抜区分：外国人留学生特別選抜） 文学部比較文化学科（科目名：集団討論、面接）
集団討論 1. 出題の背景・求める能力 集団討論は、受験生に出題文を読ませた後、考える時間を与え、討論させるという形で行う。テキストを理解した上で、設定したテーマに従い、自分の意見を述べ、他人と意見を交換しながら討論する。受験生には、読解力、論理思考、見解を適切に表現する能力、独創性、コミュニケーション能力、協同性が求められる。 2. 解説 今年の題目は、近年注目されているジェンダーというテーマを設定した。水溜真由美著『女性/ジェンダー』（2024年、東京大学出版会）から一部を抜粋して出題を行った。水溜真由美氏は、近現代日本思想史、ジェンダーについての研究者で、この著書は東京大学出版会が発行し、中島隆博氏・木末文美士氏が編集した「日本の近代思想を読みなおす」シリーズの一部である。ジェンダーは作られたもので、時代や地域によって「男らしさ」や「女らしさ」の中身は大きく異なること、近年浮上したジェンダーに関連する問題には、歴史的な繋がりがあるという内容を踏まえ、討論を行なった。 テキストの述べる内容を客観的に把握し、自分なりの見解を述べ、多様な視点から問題を思考・解決し、社会問題を根本から探る、深い思考が求められる。また、単に自分の意見を述べるだけでなく、集団討論において他人とコミュニケーションを行い、意見をまとめ、深い討論を行うのも、採点のポイントである。 3. 受験生への情報提供 日常生活に見られる諸問題について、なぜ、どのようにしてそうなったかを自分に聞きましょう。その考えを整理し、自分の意見をきちんと述べるのが大切です。関連する研究書を少し読めば、発言の論理性が更に一層上がると思います。また、自分の立場だけでなく、違う立場の人の声も聞き、多様な視点・他人とのコミュニケーション力を養うのも、受験に役に立つと思います。 面接 1. 面接の意図・求める能力 比較文化について、志望動機と勉強意欲、目標などを学生に叙述してもらい、円滑なコミュニケーション力、論理的な思考を表現できる能力、目標を達成するための計画力を確認する。 2. 評価ポイント 質問に対して、論理的に答えられるか、志望動機と勉強意欲について面接官を説得できる表現ができるか、目標を達成するために計画力があるかを重視している。	